



# たろはな

一般社団法人  
日本ボーイスカウト  
静岡県連盟

420-0839  
静岡市葵区鷹匠1-12-1  
静鉄鷹匠青葉園ビル305号室



静岡地区2025シンガポール派遣



3TC報告会



ローバースカウト対談



伊豆地区BP祭

## CONTENTS

|                               |    |                            |    |
|-------------------------------|----|----------------------------|----|
| 令和6年「富士章」受章スカウト紹介.....        | 2  | ビーバーだより.....               | 11 |
| ローバースカウトワークショップ2025.....      | 3  | カブつうしん.....                | 11 |
| 3TC報告会.....                   | 4  | ボーイ通信.....                 | 11 |
| ラトビア派遣報告.....                 | 5  | 指導者だより.....                | 12 |
| ワクワク自然体験あそび めざせ!防災はかせちゃん..... | 6  | 信仰への道.....                 | 13 |
| 令和6年度ボーイスカウト伊豆地区BP祭.....      | 7  | 各章に向かって、がんばろう!! 受章者紹介..... | 13 |
| JUNKOのローバースカウト対談 Vol.1.....   | 8  | 「友情章」おめでとう11名の仲間.....      | 13 |
| 臺中市童軍節訪問.....                 | 10 | マスコミコーナー.....              | 14 |
| 青少年会館の閉館に寄せて.....             | 10 | お知らせコーナー.....              | 15 |

# 令和6年 富士章受章スカウト紹介

## これからも自分を磨き、輝ける自分を目指そう

一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長 **小林 透**

西塚明里さん、酒井七華さん、富士章受章おめでとうございます。富士章を受章するまでの道のりは、自分自身の努力を積み重ねた結果でもあります。努力を支えてくださった指導者、仲間、保護者、また自分自身の知らないところからの支えもあったと思います。

私たちは一人ではなく、繋がっている人からの支えがあること、時には自分が支える側になること、このような繋がりを大切に、繋がっている人への感謝を忘れずに過ごしてほしいと願っています。そのためにも、B-P脚が残したラストメッセージの「幸福を得るほんとうの道は、ほかの人に幸福を分け与えることにある」を自分自身へのメッセージとして受け取り、その上で「ちかい」と「おきて」を事あるごとに見返し、行動に繋がれば、本当の意味で成長し、輝いていく自分を実感することができます。「人間万事大成」という言葉。人間は何事も、努力を続けることで成長し輝いていくという意味を込めて送ります。

### 令和6年「富士章」受章スカウト 喜びの言葉

伊豆地区 三島第5団 ベンチャー隊 **酒井 七華**



ビーバースカウトから続けてきたスカウト活動も10年以上が経ち、ついに憧れだった富士章を胸に付けることができました。ここまで来られたのは、隊長をはじめとする指導者の方々、そして仲間たちの支えがあったからです。そして、影ながら支援・

応援してくれた家族には、心から感謝しています。

これまでの活動の中で、何度も挫折し、辞めようかと悩んだこともありました。しかし、そんな時に富士章を取得した先輩方の姿を見て「自分も頑張ろう」と奮い立たせて来ました。私も、後輩たちにとってそんな頼もしい先輩になりたいと思っています。

これからは、後輩スカウトがより良い経験を積めるよう、自身が学んできたことをしっかり伝えていきたいです。スカウト活動は団内に留めず、周りの団や地区のスカウトたちの成長にも貢献し、多くの富士章取得者が生まれるよう、積極的に参加したいと思っています。そして、スカウト活動を通じて得た経験を、将来の自分の目標にも生かしていきたいです。

浜松地区 浜松第12団 ローバー隊 **西塚 明里**



私は幼少期からボーイスカウトに所属し、様々な活動をしてきました。カブ隊やボーイ隊ではロングハイクや班員とのキャンプなど楽しかったことも大変だったことも同じくらいありました。私は一人っ子のため、周りをまとめてくれる年上の存在や自

分より年下の子の面倒をみるという経験は刺激的でした。そして自分が班をまとめる立場になった時にやっとそれまでの年上のスカウト達の凄さと大変さを知りました。

ボーイスカウトの思い出はどれも砂っぽさや寒さ暑さなど、とても快適とは思えない真逆の質感が思い出されます。しかし、それらは他では得られない貴重な体験でした。

成人した今、面倒なことや難しい課題がある時、ボーイスカウトでの経験が生かされていると感じます。できなさそうだと感じることも、本気でやってみれば意外とできてしまうということは、ボーイスカウトで学んだことです。

私はこの度富士スカウトという名誉な章を取得することができました。これからもこれまでに得た経験とこの気持ちを大切にしていきたいです。

本年も3月26日に両名が赤坂東邸に秋篠宮皇嗣殿下を、27日に首相官邸に表敬訪問し全国代表として参加致しました。

石破茂首相は、受章者の皆さんに対し「一人一人がより素晴らしい社会を作り先駆者として活躍するよう期待している」と激励しました。

写真提供:公益財団法人ボーイスカウト日本連盟





2025

# ローバースカウト ワークショップ

■2025年2月22日(土)～24日(月・祝)

■MOA大仁研修センター

2025年2月22日(土)～24日(月・祝日)、日本連盟プログラム委員会主催のもと、災害時に適応できる力を学ぶトレーニングがMOA大仁研修センター(伊豆の国市)で実施されました。静岡県連盟からは伊豆地区大仁第1団坂田夢生、富士宮地区富士宮第25団佐野雄一の2名が参加しました。「自助」「共助」の重要性や社会の中でスカウトスキルが役立つことを学ぶ機会となりました。



## 学びのその先を目指して

富士宮地区 富士宮第25団 ローバー隊 佐野 雄一

私がこのWorkshopに参加した最大の目的は、今後必ず起こる災害に支援という形で、的確な判断のもと対応にあたっていきたいからでした。今回、普段の日常では体験できないリアルさと、その知識を自分のものにできたのはとても大きい経験でした。特に印象に残ったのは「イメージ」を働かせることです。いどこで発生するかわからない災害に対し予測して行動を取ることの大切さを、身を持って体得できました。スカウトのモットーでもある「そなえよつねに」、これを日々実践しているように、災害時でも想像の幅を広げ、臨機応変に対応していきたいと更に関心しました。また訓練において班で行動を共にすることが非常に多かったです。様々な訓練に役割分担をこなすことで密に連携が取れることや、合図や掛け声が支援の柔軟な対応に直結していること、それが避難者や被災者の不安と不満を少しでも和らげることになるのだと、気づきを得ました。

今回得られた体験や知識をまずは自分に、そして周りや後輩スカウトに広め自助、共助の理解を更に強めることを目指します。また学ぶことはWorkshopで設けられた3日間だけで決して終わらせません。災害支援等のボランティアで動ける身体と頭を養うために、継続的な学びを心掛けたいと思います。



## ローバースカウトワークショップ

伊豆地区 大仁第1団 ローバー隊 坂田 夢生

私がローバーワークショップ(以下RSWS)で感じたことは、防災とは日々の積み重ねが大切であるという事です。今回のRSWSではリアル防災訓練や炊き出し・避難所運営のシミュレーションゲームや訓練などを通して発災時に備えて何を知り、どう備える必要があるのかを学びました。RSWS参加前は、防災や発災時に必要な知識・技術は特別なものであると考えていました。しかしワークショップを通して、災害時に必要な備えや行動を一つ一つ細分化してみると、私たちがこれまで行ってきたスカウト技術がベースにあることが分かりました。また、発災時は非日常の場であるからこそ災害時に活躍できるスカウトになるためには、日常的に技術の向上や新たな知識の獲得に励む必要があるのだと感じました。そして、この学びを後輩や職場・地域の人々などより多くの人に伝え、みんなで備えることが大切になると考えるため、情報の発信や様々なスキルの継承に努めたいと改めて感じました。



# Connect Nature

3TC 報告会

浜松東地区 浜松第22回 ベンチャー隊 **松野 友城**

今回のキャンプは、僕にとって初めて県外のスカウトと自分たちで計画したキャンプでした。3TCで出会った仲間と、10月下旬に、「団の枠を超えてみんなでキャンプをしよう」という話が出たことがきっかけで、計画が始まりました。今回のキャンプの目的は、「協力しながら相互理解を深め、友情を築くこと」でした。

ここまで仲良くなれたことが本当に嬉しいです。遠方の仲間が多く、準備の段階から大変なことも多くありましたが、無事に終わることができてよかったです。最初は、みんな緊張しているところもあり話が止まってしまう時もありましたが、一緒に過ごしていく間に段々と打ち解けていくことができました。キャンプ場移動のためたくさんある装備をみんなで運ぶ時、協力し励まし合うことで、みんなの仲がさらに良くなったと思いました。キャンプの最後には、寄り道して遊んだり、動画撮影できたりしました。

反省点としては、ソロテントが壊れてしまったことと寒さ対策が不十分だったことの二つです。ソロテントはそ

2日目の夜に、  
火の周りに集まっ  
ているところです。



最後に、  
たまたま座った3人と  
景色を撮りました。



の場で修理できず、結局持ち帰ることになってしまいました。また、寒さ対策については、事前に自宅の庭でテントを張って寝てみたものの、それでも寒かったため、装備を見直す必要があると感じました。

全体を通して、とても充実したキャンプになったと思います。3TCでの出会いをこれからも、大切にしていきたいです。

 キャンプを短く  
まとめた動画です。

右のQRコードを読み取り、  
再生してください。



# 富士地区 ラトビア派遣報告

ラトビア共和国

富士地区 富士第2団 ボーイ隊 川島こころ

両国の若いスカウトが交互に相手国を訪問し、互いの国の生活、文化、伝統、自然等を理解し、友情の絆を作り上げることを目的に行っています。

**8月12日(日) 22:50 中部国際空港出発(途中、ヘルシンキ空港で乗り継ぎ6時間)**

飛行機の予約は自分達で調べて、安くて乗り継ぎ時間に余裕のあるフィンエアーに決めました!

**8月13日(月) 13:40 リガ空港到着**

到着後は、シースカウトとのアクティビティーでカヌーをしました。

**8月14日(火) ユールマラ観光(公園や海など)**

**8月15日(水) キャンプサイト到着(~18日までクルディーガでキャンプ)**

キャンプサイトからカヌーで約8時間移動し、目的地へ到着。大自然の中を音楽をかけながら進み、ゆったりとした時間でした。キャンプ中は、スカウトとアクティビティー(サッカー、チェリー、スイカ割り) キャンプファイヤー、クルディーガ市観光(スーパー、橋、展望台) などを楽しみました。

**8月16日(木) クルディーガ市長訪問をしました。**

市役所の見学もさせていただき、おしゃやかな雰囲気でした。

**8月19日(日) ラトビア大統領訪問をしました。**

大統領はとても忙しい方ですが、奇跡的に会うことができました。とても緊張しましたが、優しい方で私達の挨拶にもうなづきながら聴いてくれました。

**8月20日(月) ルンダーレ宮殿観光、オペラ鑑賞**

**8月21日(火) スイグルダ観光**

**8月22日(水) 日本大使館訪問**

日本大使館の方は、ラトビアと日本が交流していることを知らなかったもので、そのことについて話しました。

**8月23日(木) オグレ観光 サイクリングやロッククライミングをやりました。**

夜はお別れパーティーをしました。おにぎりや味噌汁、カルピス、日本のお菓子(安倍川餅、どら焼き、駄菓子)などを振る舞い、好評でした。ちらし寿司は、人気なし。持参した折り紙で鶴を作ったり、羽織をプレゼントしました。

**8月24日(金) リガ空港出発**

**8月25日(土) 名古屋国際空港着**

ラトビアのボーイスカウトの活動回数は週に3回、ボーイスカウトは生活の一部、隊長の役割は少なく、スカウトのリーダーが指示を出す、活動に積極的で意識が高い。

ラトビアでのボーイスカウト活動に関して感じたことは、日本のボーイスカウトと似ている所が多く、やはりボーイスカウトは世界共通なのだという事です。一方ラトビアでは、ボーイスカウトの活動回数が多く、週に3回も活動しているということに驚きました。日本のベンチャースカウトも自分達で企画をして活動するという点では同様ですが、ラトビアのスカウトの方が活動に対して積極的で意識が高いなという印象を受けました。ラトビアのキャンプを経験し、少し遅くなったような気がします。

ラトビアで2週間生活してみて、日本との違いに受け入れがたいこともありましたが、温かい人に囲まれて、充実した2週間を過ごすことができました。この2週間は私の宝物で一生忘れることはないでしょう。私がこの経験ができたのは、ボーイスカウト富士地区がラトビア友情プロジェクトを継続的にを行い、このような機会をくださったこと、両親や周りで支えてくれた人がいたからです。

また、団委員長が私を信じて、ラトビアに行くことを後押しし、任せてくださったことで、成長するきっかけをいただけました。本当に感謝しています。

ボーイスカウト活動を継続していると、海外の人と関わるチャンスが巡ってきます。後輩に伝えたいことは、そんなとき、言葉の壁に躊躇しないことです。ボーイスカウトの活動は世界共通なので、分かり合えることが必ずあります。チャンスを逃さず挑戦してください! Paldies! ありがとう!



# ワクワク 自然体験

めざせ！防災はかせちゃん

富士宮地区主催

■令和7年3月9日(日) ■白尾山公園

地区組織拡充委員 若林 智子

令和7年3月9日(日曜日)白尾山公園をお借りし、一般応募6名、スカウト24名の参加にて、ビーバー部門対象ワクワク自然体験を実施致しました。

まず、防災クイズでは子どもたちに解りやすい絵を使い、災害時取るべき行動を学びました。

次に、参加者は4つの班に分かれ、それぞれベンチャー、ローバーのお兄さんお姉さんといっしょにゲームに挑戦しました。災害時に役立つ物を紹介する防災グッズのキムス、遮光性テントの中で懐中電灯の使い方を工夫することにより周囲を照らすことができる体験、防災グッズの一種で石灰に水を加える事で熱源を作り袋の中で蒸しパンを作る体験、新聞紙を使ってコップやお皿を作る体験。楽しく進めて行きました。特にテントに入ることが興味津々のようでした。



防災グッズの  
キムス



石灰に水を入  
れ熱源とし、  
蒸しパンを  
作っている

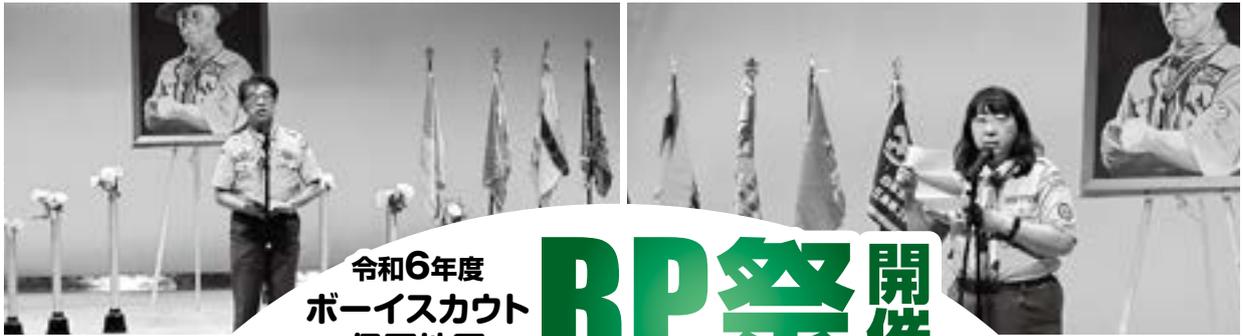


新聞で作った  
コップを使って  
水運びゲーム

その後、全体ゲームとして自分で作った新聞紙のコップを使い水運び、お楽しみとして尻尾とりをしてたっぷり遊びました。

最後に、参加者全員保護者、リーダー含め横一列になってゴミ拾いです。大人数が一列になり公園の中を進んでいくのは圧巻でした。

今回は防災をテーマに遊びを交え体験して頂きました。その中で、ボーイスカウト構成員の社会的背景は多岐にわたり、様々な職種の方がおられ、その方々のご協力の上に成り立っている事を再度実感できる事業でした。皆様のご協力に感謝致します。



令和6年度  
ボーイスカウト  
伊豆地区

# BP祭開催

■令和7年2月16日(日) ■葦山文化センター(葦山時代劇場)

令和7年2月16日(日)、葦山文化センター(葦山時代劇場)にて伊豆地区BP祭が開催されました。

式典がスタートし、各団各部門の代表スカウトがB・P(バーデン=パウエル)肖像画の前で献灯・献花をする姿に日本連盟が100年以上続いてきたスカウト活動の重みを感じさせました。来賓として伊豆の国市教育長・菊池之利様の出席を頂き挨拶を賜りました。

またスカウト顕彰、優秀スカウト表彰、友情章取得スカウト紹介、日連・県連表彰者紹介、地区功労者表彰などが行なわれ最後に「世界の総長」が斉唱されました。第2部では、BS・VSスカウトの活動報告に続き、日連スカウトソングコンテストに応募する合唱動画

『ボーイスカウト～いま高き峰へ～』が収録されました。





JUNKOの

# ローバースカウト 対談 vol.1

自身がそれまでに得た体験や知識、技能を基に、「社会や世界の課題」に挑戦しているローバースカウト。今回は4名の皆さんに活動の魅力や目標についてのお話を伺いました。

**南條:** 本日はローバースカウト4名の参加を頂き、いろいろ語って頂きたいと思います。先ず、ボーイスカウト活動を始めた時期ときっかけは何ですか？

**畠山:** それでは議長の私から始めます。6~7歳ごろから活動しています。地元のお祭りのブースで知り、ボーイスカウトの広報をたまたま見かけたことから参加することになりました。



焼津第5団  
畠山 佑紀 (議長)

**小林:** 幼少期より父親に連れられ、また八巻隊長より勧誘がありピーバースカウトに入隊しました。

**佐野:** 通っていた幼稚園の先生がボーイスカウトの指導者を務めていたことから影響を受け、入団に至りました。

**萩野:** 小学校4年生頃からです。ちょうど藤枝の団が

70周年だったと思います。大久保キャンプ場でのボーイスカウト主催のキャンプに参加したらたまたま友人がいて紹介されました。

**南條:** 今までの活動の中で一番思い出に残っている活動は何ですか？

**畠山:** 17NSJの最終日に星空の下、みんなで寝ながらいろいろ語り合ったのが良い思い出になりました。

**小林:** 16NSJは思い出に残っています。

**佐野:** 昨年富士章を取得後、赤坂東宮御所参殿に秋篠宮皇嗣殿下を表敬訪問したことは生涯忘れられません。

**萩野:** 17NSJ、石川県珠洲市でのキャンプは良い思い出です。

**南條:** みんなに広く伝えたいローバースカウトの魅力・楽しさを紹介下さい。



三島第14団  
小林 理来

**畠山:**自由さ、ですね。自分で考えて行動するのが楽しくもあり、また難しくもあります。

**小林:**自分自身に責任を持つということや他者との関わり方が、成人することによってより自由になる、取捨選択をすることができるということです。



富士宮第25団  
佐野 雄一

**佐野:**とにかく自由に!ベンチャーとはまた違った自分の好きなように活動を展開でき

ることです。今までは参加者の立場でしたが、その参加者を導く運営側に立てること!また参加者をどう楽しませるか、まず自分たちがどうしたいのかを自由に考えることができ、参加者を楽しませることは自分たちの楽しみややりがいにつながります。それはすなわち自己の成長の近道へとも繋がると思います!

**萩野:**今までやってきた活動の中で身につけてきた技術などを活用することでより楽しくアクティブに人生を楽しめます。

**南條:**現在の悩み(進学・就職・恋愛など)何ですか?

**畠山:**学業との両立ですね。またスカウト活動においてモチベーションの維持が大変です。

**小林:**やはりボーイスカウトと私生活の両立です。今後、スカウトが就職した際にどうやればいち早く仕事に取り組みめるかが課題です。



藤枝第1団  
荻野 留名

**佐野:**学生を卒業して社会人となって社会に働きに出たとき、自分は何のようなスカウトに成長しているのが理想か、また社会人となってから学生時代とはあまり時間が取れなくなる中、ボー

イスカウトとどうかかわっていくべきなのか。これら二つに正解はあるのか。今のうちにそれを知って、あと2年しかない学生生活の中で様々な準備ができると良いです。

**萩野:**現在は車関連の工場に就職して働いております。土日の仕事もあるので団のキャンプになかなか参加出来ないのが残念です。また団に若いリーダーが少ないのも悩みです。

**南條:**今後どんな活動をしていきたいですか?またどのように携わっていきたいですか?

**畠山:**この活動は世の中の役に立つと信じています。大事なやはり社会奉仕です。一番根幹にあるべき活動なのに、最近全然できていないからです。

**小林:**他ではできない経験値の習得、組織の運営を知る、スキルとして現れない力を磨くことです。

**佐野:**引き続き様々な運営の立場に付き、見て、触れて多くの経験を重ねていきたいです。それが社会人になったとき活かせるものだということを信じて。また参加者側に自分になったときも、多くの事を見て、感じて、考えられる活動にしていきたいです。今現在の最終目標としては、運営や参加者側で見てきた景色を最大限に生かして原隊に戻ったとき、またはその地元団に所属した時に指導者としてスカウトを導いていきたいと思っています。

**萩野:**団でリーダーをやりたいと頼まれます。今後も指導者として下の世代とどう関わられるのか、いろいろ考えながらスカウト活動を続けていきたいと思っています。

**南條:**本日はお忙しい中お集まり下さりましてありがとうございました。皆さんの今後ますますのご活躍を心より願います。



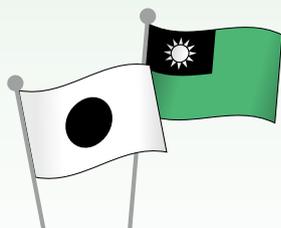
ボーイスカウト静岡県連盟  
総務広報委員長  
南條 順子(司会)



# 臺中市童軍節訪問

副理事長 大澤 晶

3月4日から7日まで台湾の臺中市童軍節へ小林理事長、大山国際委員長3名で訪問してきました。静岡県連盟と中華民國童軍總會臺中市童軍



會は、令和4年に国際交流覚書を交わし交流関係にあり、昨年の3TCにも多くの台湾スカウト、指導者が来日しています。3月5日が中華民國童軍總會設立114周年の三五童軍節であり、その慶祝大会へ出席してきました。



2000人ほどのスカウトが大きな体育館の床、2階席を

びっしりと埋め尽くし大盛況でした。感心したのは、スカウトが一人ひとり前に呼ばれ表彰される際、あちこちの客席から自然発生的にエールが起こることでした。恥ずかしがることもなく堂々としたエール。これが台湾の国民性なのか、と日本との違いを感じた所でした。言葉はなかなか通じないけど、このような国民性を持った国の人とスカウトたちが交流するのも自分を発見するのに良いことでは、と思いました。



## 青少年会館の閉館に寄せて

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟副連盟長  
一般財団法人 静岡県青少年会館副理事長

村松 武博

本連盟が長年事務局を置き、各種研修や会議、集会にお世話になった静岡県青少年会館が閉館する運びとなりました。1978年、静岡県(以下、「県」)は、青少年団体の活動拠点として静岡県青少年会館(以下、「会館」)を建設し、その運営を無償で財団法人静岡県青少年会館(以下、「財団」)に託しました。会館には、青年団、子供会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの事務局が入居し、諸活動に利用してきました。2017年、県は、会館の無償貸付けを有償化することとしたため、財団は入居団体に呼びかけ、4万人以上の有償化反対署名を集め、県と交渉してきました。さらに、県の方針が、財団の解散、入居団体の会館からの退去という方向に変化してきたことから、県議会議員をはじめ、各方面の方々の支援の下、会館

の継続使用、新たな施設への移転又は建設について県との交渉を重ねてきましたが、ついに、2024年度いっぱいまで会館は閉館、入居団体は退去ということになりました。これは、各団体にとっては重要な活動拠点を失うことであり、本連盟にとっても、誠に残念な結果です。本連盟としても財団としても、将来に向かい広く各方面に働きかけ、県や社会の理解を得て、各種青少年団体が使用できる新たな活動拠点ができることを期待します。県は、有徳の士を育てることをうたっており、次世代の県民を育てる私たちの運動の重要性を理解していただいていると信じます。皆様には、会館の閉館に伴い、事務局の移転、会議開催の不便等ご迷惑をおかけしますが、この件についてご理解を頂き、今後ともご支援のほど、よろしく申し上げます。



## いつも元気だっ! ビーバーだより

### ソーセージを作ってホットドック

浜松地区 浜松第31団 ビーバー隊 宮崎 楓

わたしは、ボーイスカウトのたいしゅうかいで、きょう年ほいくえんがおなじだった子といっしょに、ソーセージをつかって、それをパンにはさんでホットドックにしてたべました。ホットドックはおいしかったです。おにいちゃんがつくったソーセージは、ハーブがよくて、にがくていやでした。



なぜかというとロープが真っすぐとんだりではめてもらえたからです。

ほかにもベーデンパウエルさんのことについて知ったり、こうちゃを飲んでみたりしました。

どれもすごく楽しかったので、またみんなでBP祭をして楽しみたいし、家でもBP祭でやったりくじらとりや的をつくっての当てゲームで家族みんなで点数を競ったり、学校でもみんなにこのゲームを教えて、学校のものにもよろこんでもらったり、楽しさを味わってもらいました。



### ビーバーたいに入って

磐田地区 磐田第3団 ビーバー隊 高山 裕理華

わたしがビーバーたいに入って、一番楽しかったことはツイストパン作りです。ツイストパンは、きじを竹のぼうにまきつけて、すみ火でやきます。パンがこげないように、竹のぼうをくるくるまわしながらやきました。やけたパンは、あつあつほくほくであまりあじはしなかったけれど、おいしかったです。絵のぐで木に絵をかいて、ペンダントを作りました。

スカウトと作ることが楽しかったので、またパン作りと木にかくことをやりたいです。




## ボーイ通信 BOY SCOUT

### 今年の活動を振り返って

島田地区 金谷第1団 ボーイ隊 櫻井 孝頼



今年度の活動で思い出に残っているのは、1月12日、島田市の大井川の河川敷で団行事として行ったどんど焼きで、団委員長がスカウトOBの宮司さんと呼んで祝詞をあげてもらい、みんなの書き初めや正月飾りを焚きあげました。

このどんど焼きを通して日本の正月文化に触れると共に、スカウトのちかいとおきてについて改めて感じることができ、考えが深まりました。



今までは、地域の行事としてどんど焼きを行ったことは



## カブつうしん CUB SCOUT

### BP祭でしたこと

清水地区 清水第17団 カブ隊 田中 柚

私はBP祭でしたことが一番楽しかったです。BP祭では「的当てゲーム」をしたり、「くじらとり」というゲームをしたり、つなひきもしました。その中でも一番楽しかった遊びは「くじらとり」です。



ありましたが、宮司さんと呼んで行ったのは初めてなので貴重な体験をさせていただきました。

宮司さんに祝詞をあげてもらったこと

で心が晴ればれとしてとても健やかな気持ちになることができました。

その日の午後は、島田市はたちの集いの奉仕に参加し、ボランティアとして活動しました。その中で色々手伝いをして、これまた特別な体験をさせてもらうことができたので、これからもスカウト活動を続け色々な体験をしていきたいと思いました。



## ぐにやぐにや凧作り

磐田地区 掛川第2団 ビーバー隊 隊長 橋本 美加子

2月2日(日)、掛川2団ビーバー隊のみんなでぐにやぐにや凧作りに挑戦しました。ビニールと竹ひごで作る凧。副長の説明を聞きながら、ひとつひとつ作業を進めていきました。



「今日はおうちの人に頼るのではなくてスカウトどうし、手伝い合いながら作ろう!」型紙から凧の形を写し取る時は、押さえてあげたり、竹ひごを張るときはセロテープを切ってあげたり…。大人の助けも借りましたが、ほぼ1年間一緒に活動してきたスカウト達の中には助け合いながら制作を進められている姿も…。

最初は小雨がぱらついていた空も凧が完成に近づく頃には曇り空に変わり、何とか凧が揚げられそうになりました。

今だ!グラウンドに凧を持って…、いざ凧あげ! 「あがったよ!」グラ

ンドいっぱい走り回るスカウト達。途中からは止まっても凧が揚がるのに気が付き、風に乗せて凧を揚げられるスカウトもチラホラ。

隊集会後もまだやりたいとグラウンドで凧を揚げているスカウトもいました。自分で作って遊べるっていいね!



## 静岡地区 静岡第27団

## HAPPY BIRTHDAY B-P!

私たちの団は毎年恒例の雪中訓練でB-P祭を行っています。今年の雪中訓練は2月22～23日。いつもより特別な日になりました。



### ビーバー隊 みやふじ 笑

みんなでB-Pのおたん生日をおいわいでできて嬉しかったです。ろうそくとB-Pのしゃしんがきれいでした。

### ビーバー隊 青木 みやま

しんじやったB-Pなのにおたん生日をおいわいするのはこわかったけれど、おもいでになりました。



### ボーイ隊 河野 怜治

ラストメッセージを聞いて、これからも活動を頑張ろうと思いました。

### ボーイ隊 鈴木 煌悟

幻想的なキャンドルで盛り上がりました。世界中の人にお祝いしてもらっていいな。

### ボーイ隊 池谷 咲耶

当日に「ちかい」と「おきて」の唱和ができてよかった。B-Pがいたからこの活動ができて、みんなに会えたことに感謝したいです。

# 信仰への道

富士地区 富士第8団 金子 智一

富士第8団ベンチャー隊は、隊指導者2名スカウト7名で活動しています。ベンチャースカウトとなると部活動や勉強など忙しく活動に参加できないことが多々ありますが、その中でもスカウト活動に参加してくれるスカウトに感謝しております。

今年度は富士地区で「仏教講習会」が実施され、富士第8団からも参加しました。講習は第1回11月1日「宗教とスカウティング」、第2回11月8日「釈尊伝」、第3回11月22日「祖伝」を学び、第4回12月4日富士市の等覚寺で「仏前作法と法要実修」、第5回12月5日山梨県身延山久遠寺にて「総本山身延山久遠寺と諸堂参拝・思親閣回峰行」の合計5回で実施されました。ベンチャースカウトともなると仏教に興味を持つスカウトがおり講義が終わった後でも講師に質問が次から次へと出ていました。第5回の身延山久遠寺参拝は、眠い目を擦りながら4時に出発し5:30からの朝のお勤めに参加しその後思親閣へ登山ととてもハードな1日でしたがローバースカウトの協力もあり無事に終えることができました。残念ながら体調不良で全てのスカウトが仏教章の取得が出来ませんでしたが、信仰を学ぶ場を提供出来てよかったです。



令和7年度は、第4回日蓮宗スカウトキャンボリーの参加や、ラトビアスカウトが来日するのでスカウトが充実した1年になるよう指導していきたいと思っています。



## 各章に向かって、受章者を紹介致します！ がんばろう！！

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

●菊スカウト章は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

| 地区名 | 団名      | 隊      | 氏名     | 進級年月日      | 地区名 | 団名     | 隊    | 氏名    | 進級年月日      |
|-----|---------|--------|--------|------------|-----|--------|------|-------|------------|
| 静岡  | 静岡第22団  | ボーイ隊   | 法月 玲於南 | 2024年12月9日 | 富士  | 富士第10団 | ボーイ隊 | 山本 叡華 | 2025年2月11日 |
| 静岡  | 静岡第26団  | ボーイ隊   | 花村 駿太  | 2024年12月9日 | 富士  | 富士第10団 | ボーイ隊 | 山下 舜稀 | 2025年2月11日 |
| 静岡  | 静岡第26団  | ボーイ隊   | 森田 栞輔  | 2024年12月9日 | 富士  | 富士第10団 | ボーイ隊 | 常盤 真帆 | 2025年2月11日 |
| 富士宮 | 富士宮第22団 | ベンチャー隊 | 山口 愛琳  | 2025年2月1日  |     |        |      |       |            |

●隼スカウト章はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。

| 地区名 | 団名    | 隊      | 氏名    | 進級年月日      |
|-----|-------|--------|-------|------------|
| 浜松東 | 浜松第6団 | ベンチャー隊 | 鈴木 昌大 | 2025年2月24日 |

●富士スカウト章

| 地区名 | 団名    | 隊      | 氏名    | 進級年月日       |
|-----|-------|--------|-------|-------------|
| 伊豆  | 三島第5団 | ベンチャー隊 | 酒井 七華 | 2024年12月24日 |



## おめでとう!! 10名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

### 令和7年4月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

| 氏名       | 地区 | 所     | 属     | 氏名     | 地区  | 所       | 属    |
|----------|----|-------|-------|--------|-----|---------|------|
| 駒木 根 弘 騎 | 磐田 | 掛川第2団 | ビーバー隊 | 小川 葵 維 | 伊豆  | 大仁第1団   | ボーイ隊 |
| 田辺 勸 来   | 志太 | 藤枝第2団 | ビーバー隊 | 古屋 瑚 都 | 伊豆  | 大仁第1団   | ボーイ隊 |
| 米嶋 一 遥   | 志太 | 藤枝第2団 | ビーバー隊 | 西島 祐 夏 | 伊豆  | 大仁第1団   | カブ隊  |
| 小村 咲 月   | 伊豆 | 大仁第1団 | ボーイ隊  | 宮内 太 輔 | 伊豆  | 大仁第1団   | カブ隊  |
| 堀江 柚 那   | 伊豆 | 大仁第1団 | カブ隊   | 前田 秀 樹 | 富士宮 | 富士宮第22団 | ボーイ隊 |

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和6年12月～令和7年2月

|                 |          |             |       |        |                 |
|-----------------|----------|-------------|-------|--------|-----------------|
| <b>【日連維持会員】</b> | 和田 篤夫    | BS 清水 地区    | 丸山 浩孝 | 鈴木 典江  | 株式会社 松浦企業       |
| 大川 靖夫           | 鈴木 均     | 赤沢 クラブ      | 大沼 博政 | 杉山 伊佐子 | 植田 寿々代          |
| 川村 進            | 中嶋 正志    | BS静岡第10団育成会 | 平野 尚司 | 山本 真一  | <b>【県連賛助会員】</b> |
| 杉山 盛雄           | 小城 茂子    | 北村 誠        | 濱田 敏彦 | 志賀 裕人  | 南條 順子           |
| 杉本 忠重           | 太田 浩三郎   | 杉山 敏允       | 前田 左近 | 南條 順子  | 志賀 裕人           |
| 永田 通児           | BS 伊豆 地区 | 有限会社 Sリース   | 勝 俣 昇 | 井出 利恵  | <以上敬称略>         |



# マスコミコーナー

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

令和6年12月24日 静岡新聞 掲載

令和6年12月15日 静岡新聞 掲載

令和6年12月28日 静岡新聞 掲載

令和7年2月21日 静岡新聞 掲載

令和7年2月17日 伊豆日日新聞 掲載



# おしらせコーナー

## 《 定型訓練 》

### ボーイスカウト講習会 静岡第651回 浜松地区

**日時**

令和7年5月11日(日)

**場所**

浜松市立青少年の家

**申込み**

令和7年4月20日(日)まで  
(QRコードからお申し込み出来ます)



**お問合せ**

浜松地区担当者 齊藤晶子  
Tel.090-3938-5499  
Email:akiko-i2006@nifty.com

**主任講師**

鈴木 亮介

### ボーイスカウト講習会 静岡第652回 富士宮地区

**日時**

令和7年6月8日(日)

**場所**

富士宮市咲花区区民館

**申込み**

令和7年5月31日(土)まで  
(QRコードからお申し込み出来ます)



**お問合せ**

富士宮地区担当者 細野猛嗣  
Tel.090-6084-1915  
Email:thosono-0701@hw.tnc.ne.jp

**主任講師**

木村 利春

### ボーイスカウト講習会 静岡第653回 磐田地区

**日時**

令和7年6月8日(日)

**場所**

磐田市向笠交流センター

**申込み**

令和7年5月25日(日)まで  
(QRコードからお申し込み出来ます)



**お問合せ**

磐田地区担当者 熊谷正和  
Tel.090-1416-9625  
Email:mituke\_kid@yahoo.co.jp

**主任講師**

稲村 篤

## 令和7年度 静岡県連盟定時総会・表彰式

●日時:令和7年5月17日(土) ●会場:あざれあ大ホール

## ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(Tel.054-255-6185)まで  
ホームページもご覧ください。<https://bs-shizuoka.com/General/>

**編集**

**日記**

酒井さんと西塚さん、富士章受章おめでと  
うございました。首相官邸、赤坂東邸への表  
敬訪問も良い思い出になったと思います。今  
回はローバースカウトの対談を行いました。彼らの前向きな  
意見に胸が熱くなりました。上進者、新メンバーを迎えて新年  
度の活動が始まりました。「たちばな」も前年度以上に充実  
した紙面を目指します。皆さんからのご意見・情報及び取材  
依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広報 “たちばな” 2025年4月

発行所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠1-12-1  
静鉄青葉園ビル305号室  
TEL054-255-6185 FAX054-204-0773  
<https://bs-shizuoka.com/General/>

編集責任者 総務委員長 南條 順子

印刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市中央区上新屋町30-1 TEL053-467-4678

発行部数 2,610部

# たくさんの笑顔をひろげたい、 わたしたちはスカウト活動を応援しています。

月光天文台はボーイスカウト活動を応援しています

プラネタリウムの星空を眺めよう  
本物の化石・隕石に触ってみよう



公益財団法人 国際文化交友会 月光天文台  
〒419-0101 田方郡函南町桑原1308-222 TEL 055-979-1428



信頼と安心の24時間サービス

**藤田電気株式会社**

〒420-0064 静岡市葵区本通2丁目2番地の13  
TEL:054-254-8288 FAX:054-251-0651  
<https://www.fujita-denki.net>

貸切バスのご用命は遠鉄貸切バスへ



遠州鉄道株式会社 旅行営業課

TEL.053-457-6470 (受付時間9:00-18:00)  
FAX.053-457-6477 ※土・日・祝日は休業日となります

一般社団法人 中部電気管理技術者協会会員

**橋本電気保安管理事務所**

代表者 橋本 健治

電気設備・太陽光発電所・水力発電所保安管理業務  
住所:静岡市清水区駒越東町3番5号

広報“たちばな”の広告に関する  
お問い合わせは

ボーイスカウト静岡県連盟事務局まで

TEL / **054-255-6185**

掲載サイズ 横 **80mm**

掲載サイズ 縦 **40mm**

**たちばな**  
に広告を載せませんか?  
**掲載企業・団体募集中!**

※広告のお問合せは県連事務局までお問い合わせ下さい。

2026年  
夏季!

『広島県神石高原町』にて日本スカウトジャンボリーが開催されます!

会場 **広島県  
神石高原町**

神石高原町は広島県東部、標高約500mの中国山地に位置し、人口約8,000人、381km<sup>2</sup>の森林に囲まれた高原の町です。

広島県福山市の中心地・JR福山駅から約38km山陽自動車道福山東インターから約36km、いずれからも国道182号を經由して車で1時間弱。

中国自動車道の東城インターから車で約27km。30分。

ボーイスカウト  
最大の祭典!

**第19回  
日本スカウト  
ジャンボリー**  
19th NIPPON SCOUT JAMBOREE (19NSJ)

会期 **2026年(令和8年) 6泊7日間  
8月4日(火)～10日(月)**

参加者は入場から退場まで6泊7日間をキャンプ生活で過ごします。運営スタッフは参加者より2日前に入場し、1日後に退場するので9泊10日間を基本とします。

**【参加者】**

ボーイスカウト及びベンチャースカウトを中心とした参加隊と奉仕スタッフ、8,000人規模で開催し、青年・成人の大会運営スタッフにより運営します。参加者以外にも会場に訪れる見学者の受入れを予定しています。